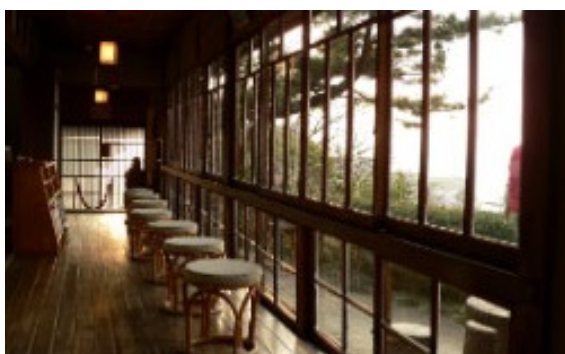


旧徳川家達別邸（逗子市郷土資料館） 逗子市



所在地 逗子市桜山 8-2275

建物概要 木造平屋建 寄棟造 棧瓦葺

建築面積 266.1m²

建築年 大正元年（1912年）頃

交通 JR 逗子駅・京急新逗子駅より海岸まわり
葉山行きバス「富士見橋」下車徒歩 8 分

※逗子市郷土資料館は、市の緊急財政対策により、平成 30 年度（平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日）は休館します。なお、平成 31 年度以降については未定です。

郷土資料館の建物は、大正元年に横浜の実業家の別邸として建築されたと伝えられ、大正 6 年（1917）からは、徳川宗家第 16 代当主家達の別邸として使われた由緒があります。

木造平屋建、寄棟造の棧瓦葺きで、8 畳間を一直線に連ねる間取りは、海側の眺めを重視したためと言われています。確かにどの部屋からも逗子湾を眺めることができ、天候しだいでは、江ノ島の向こうに富士山を遠望することもできます。

（2018 年 9 月現在）